



志をもって 未来を切り拓け

< 貫く精神 >

自学
温言温動

キャリアスクール 「The 仕事場 in 梅林」 を開催しました

7月11日(金)に地域から30名程の講師の方をお招きして、キャリアスクールを開催しました。職業に関する話だけでなく、実際に体験をするなど、講師の方の創意工夫のあるキャリアスクールを行っていただきました。和菓子職人の方からは、代表的な和菓子のおはぎづくりの実演と、実際におはぎづくりを体験することができました。アパレル業の方からは、アパレルの仕事についての話とともに、革ひもを使ったアクセサリーづくりを体験しました。グラフィックデザイナーの方からは、仕事内容やクライアント(顧客)のニーズに応えながらデザインを制作していく過程についての話を聞くとともに、家紋からつくる自分のロゴマークの制作に取り組みました。

普段の授業では見せない、皆さんがキラキラ輝かせる姿を見ながら、自分の将来を考える貴重な機会になったと感じることができました。講師の皆様、本当にありがとうございました。



3-2社会の授業のようすから ～今の社会問題について考えを出し合う～

7月14日(月)の社会の公民の授業では、「なぜ決まり(ルール)が必要なのか?」という課題について、意見を出し合いながら、授業の後半では、米の価格について農家の立場と消費者の立場から考え、「どうしたら互いが Win-Win になれるか?」について考えを出し合う授業でした。学習班の仲間で、まずは農家の立場から、消費者の立場から意見を出し合い、ともに Win-Win になるにはという難しい問題についても、真剣に議論し合う姿は、さすがは3年生といえる姿勢を見ることができました。



2-1国語の授業のようすから

～俳句作りで個人やペア追求する姿～

7月10日(木)の国語の授業では、「季節のしおり 夏」という題材で、夏の行事・暦に関わる言葉や、夏の情景を詠んだ俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむとともに、夏の俳句をつくる学習内容でした。自分の作品をつくるために、個人で追求したり、よりよい作品にするために、ペアで交流をしたりする姿が見られました。ペア交流では、決してガヤガヤ騒がしくなるのではなく、話している人の話を真剣に聞く姿があるなど、しっとりとした雰囲気の中で、俳句づくりを楽しんでいました。



2-3理科の授業のようすから

～条件をそろえることで考えを見出す姿～

7月9日(水)の理科は「植物の吸水と蒸散についての理解を深める」授業でした。植物のどこから蒸散が行われるか、葉の表か裏かなど予想をして、課題を解決しようと学習班の仲間とともに意見を出し合いながら、自分の考えをより深めることができました。この授業では、いくつかの条件をそろえて考えるという理科の見方・考え方が必要であり、その見方・考え方を発揮して意見を交流することができていました。



1-3美術の授業のようすから

～作品づくりに没頭する姿～

7月3日(木)の美術では、四角形の中に20本の直線を引き、出来上がった図形に配色をしていくという平面構成の授業でした。広い場所には明るい色を、狭い場所には暗い色を配置したりするなど、色の配色についても自分で考えて、色塗りをしていました。ここでは、学習班ではなく、個人の課題追求として、それぞれが自分の作品と向き合い、作品づくりに没頭する姿が、とてもすばらしいと感じました。中には、色を塗る前の図形をタブレットに取り込み、タブレット上で色を塗りながら、どんな色にするとよいか試してみるなど、工夫して取り組む姿も見られました。



これまでの授業の中で、学習班の仲間とともに学び合う、すばらしい姿が数多く見られました。授業においても温言温動を大切に、「仲間とつながる力」「困ったときに助けを求める力」を少しずつ自分のものにしていくと感じました。

夏休み明けにも、「仲間の話を最後まで丁寧に聞く」ことを大切にしながら、仲間とともに学習に取り組むすばらしい姿を発揮できることを期待しています。